

ホットボイス受理状況

芽室町立小中学校配置計画(案)に対して、住民の皆様からホットボイスを受理した状況について、ご意見の概要と町としての対応・考え方は下記のとおりです。

ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

【ホットボイス受理状況】

案 件 名	芽室町立小中学校配置計画(案)		
受 理 期 間	令和8年6月29日(月)～令和8年7月28日(火)		
意 見 の 件 数 (意見提出者数)	35件(35人)		
意 見 の 取 り 扱 い	修正	案を修正するもの	0件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	0件
	参考	今後の参考とするもの	15件
	その他	意見として伺ったもの	20件
意 見 の 受 け 取 り	持参		0人
	郵送		6人
	ファクス		0人
	電子メール		29人

※いただいたご意見及び回答は、ホームページ掲載内容と同じです。

【意見等の内容】

番号	ホットボイス 受理番号	ご意見	ご意見に対する考え方	取り扱い
1	59 電子メール	学校配置計画の検討における合意形成と情報公開について 現在検討されている上美生小学校・中学校の今後について、保護者や地域住民の間で様々な意見があることを感じています。 学校統合を望む方も、小規模校の存続を望む方も、どちらも子どもたちの教育環境を真剣に考えた上での意見であり、一方だけが正しいという問題ではないと思います。 そのような状況の中で、今年になって学校配置に関する方向性が示され、令和9年度末での閉校、令和10年度からの統合というスケジュールが示されていることに不安を感じています。 学校の統合は、子どもたちの教育環境だけでなく、地域の将来にも大きな影響を与える重要な決定です。しかし、保護者や地域住民の意見が分かれている現状を考えると、十分な検討や合意形成のための時間が確保されているとはいえないのではないでしょうか。 また、教育委員会による説明会は開催されていますが、PTAアンケートの自由記述で寄せられた意見や質問について、教育委員会がどのように受け止め、どのような検討を行ったのかが文書として十分に示されていないように感じています。 自由記述には、保護者の率直な思いや懸念、提案が数多く寄せられていました。しかし、それらに対する教育委員会の考え方や検討結果が保護者や地域住民に分かる形で公表されていないため、疑問や不安が解消されないまま議論が進んでいるように感じます。 また、学校のあり方については、統合か存続かという二択ではなく、多様な教育ニーズや地域の実情を踏まえた様々な可能性についても、広く検討内容を示していただきたいと思います。 子どもたちは一人ひとり異なります。大規模な環境の中で成長できる子どももいれば、少人数の環境だからこそ安心して学び、通学を継続できる子どももいます。そのため、学校配置を検討する際には、多様な子どもたちの実情や教育的二	①共通回答 このたびは、上美生小学校・中学校に係る次期芽室町立小中学校配置計画案(以下、配置計画案という。)について、ご意見をお寄せいただきありがとうございます。保護者の皆様や地域の皆様が、子どもたちの将来を見据えた教育環境について熟慮されていることを、教育委員会としても強く感じております。 さて、配置計画案の策定に際しまして、計画期間内において新たな複式学級編成が見込まれる地区のみなさんとは特に丁寧に協議を進めてきたと認識しており、上美生小中学校区はそのひとつであります。 令和4年度から今日まで、説明会や意見交換会、アンケートなど、さまざまな形で皆様の声を伺ってきました。また、出生数の減少に基づく児童生徒数の急激な減少推計や、上美生小学校の本年度の入学児童が1人、来年度も1人となるとともに、上美生中学校が令和10年度に複式学級編成となる見込みのなかでも、結論をもって説明するのではなく、地域の意向を最大限尊重する姿勢を崩さず、協議を進めてまいりました。 一方、上美生小学校、上美生中学校の未来について、教育委員会として目指していた地域の総意としての合意に至らないなかで配置計画案に盛り込むこととなった事実は、真摯に受け止めております。 学校の存続か統合か、さらに、統合の場合の時期や統合先の判断においても様々なご意見があり、地域全体の総意をおまとめいただくことは非常に難しい状況でした。 そのような中においても、保護者の皆様が意見の取りまとめに奔走いただき、要望書や回答書を提出いただきました。保護者間でも様々な意見がある状況は承知するところですが、教育委員会としては、子どもたちの最良の教育環境、学校生活への不安や希望を日ごろから受け止め、最も身近で応援する保護者の代表から提出された「統合」の要望書を第一に尊重すべき声と捉えるとともに、現配置計画に掲げる基本方針との整合等を総合的に判断した上で、配置計画案策定	【参考】

		ズについても丁寧に考慮していただきたいと思います。 そのため、 ・PTA アンケートで寄せられた意見や提案に対する検討内容の公表 ・自由記述で寄せられた質問や意見に対する教育委員会の考え方を文書で示すこと ・保護者や地域住民との十分な意見交換 ・多様な子どもたちへの影響を踏まえた検討 ・地域として納得できる合意形成の実施 をお願いしたいと思います。 学校のあり方は、子どもたちと地域の将来に関わる大切な問題です。統合の賛否を問うものではなく、だからこそ結論を急ぐことなく、十分な情報公開と丁寧な議論を重ねながら進めていただくことを願います。	の諮問機関である「芽室町学校教育推進協議会」にお諮りし、本配置計画案を策定しております。 改めて、上美生小中学校区における協議経過を整理しますと、以下のとおりです。 <u>令和4年12月19日から令和8年6月17日までの協議経過：別添</u> このような約3年半にわたる協議の結果として、行き着いている現在であります。 地域の皆様を始め、保護者の皆様の中には今もなお、異なるご意見があることは承知しておりますし、いただいていたご意見のいずれも、子どもたちの教育環境を真剣に考えた上での貴重な提案であります。教育委員会としてはあくまで、地域や団体として取りまとめられたご意向を尊重する姿勢で臨んできておりますので、本配置計画案に対して賛成、反対それぞれのスタンスや個別意見に対して一つひとつお答えすることは差し控え、本回答をもって基本的な回答といたします。 なお、本配置計画案の実現に向けた準備や具体的な取組においては、保護者の皆様を中心に丁寧に説明し、情報共有を図りながら進めてまいりますとともに、関連する影響への対応に当たっては、町長部局関係課と連携し、地域の皆様と協議の上、進めてまいります。 ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 ご指摘をいただいております PTA アンケートで寄せられた意見や提案については、6月2日 PTA 主催の検討会当日に資料提供いただき、依頼を受けて教育委員会職員が同席するなか、検討会のなかでお答えできるものはお答えしており、お答えできていない内容を中心に、6月29日付けで有児童保護者代表あて回答しております。	
2	60 電子メール	上美生小・中の統廃合へ向けての新聞報道について 地域住民の中で反対意見がある中で、話し合いや説明会を	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます	【その他】

		打ち切る教育委員会のやり方に納得しておりません。 どれだけいろいろな考えや、やり方・方法・折衷案を提示しても「難しい」ばかりで、できる方法も全く示してもらっていない状況です。 まだ最終合意の段階まで行っていないと認識していますが、なぜ6月20日時点での報道なのですか？？ 早すぎます。大変遺憾です！！	す。 6月20日の新聞報道につきましては、教育委員会が取材を依頼したものではなく、6月23日に開催された芽室町議会厚生文教常任委員会に係り事前に教育委員会が議会事務局に提出した資料が、20日に芽室町議会のホームページにて公表され、それを報道機関が独自に記事化したものであり、教育委員会として報道の時期や内容を依頼・操作した事実はございません。	
3	61 電子メール	6月20日の芽室町の小中学校統合の新聞記事を読みました。地域に住んでおられる方々はみなさん統合に合意されているのでしょうか。というのも、南小学校の統合については以前から説明会等で丁寧に進められてきた印象があります。ですが、上美生については急に話題に上がったのではないですか？住んでいる子どもも少ない地域ですし、将来的には統合になるのもやむを得ないかもしれません。昔から芽室に住んでおられる方々にしたら「そんなことは昔からうすうすわかってたことだ」と言うことかもしれません。でも、今学校に通わせている保護者の方々はちゃんと受け止めているのか、学年の途中から転校になる子どもの心のケアはどうなるのか、大変危惧いたします。芽室町の教育方針も読ませていただきましたが、「人」ではなくて「コスパ」ばかり重視されているように思えてなりません。	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 ご心配いただいている「学年途中での転校による子どもの心のケア」については、教育委員会としても最も重要な課題の一つと考えております。そのため、早期に本配置計画を策定し、令和9年度を待つのではなく、今年度から学校間の交流機会を増やし、子どもたちが新しい環境に自然に慣れていけるよう、段階的に取り組みを進めてまいります。子どもたちが安心して通えるよう、学校と連携しながら丁寧に支援していく方針です。	【参考】
4	62 電子メール	芽室町上美生小中学校の統廃合について 先日新聞記事にこのことについて、掲載されていましたが、この学校は、山村留学など子供たちが生き生きと学べる環境や生活の場が提供されている地域と認識していましたので、おどろきでした。 人口減少に伴う様々な問題がありますが、良い物は残し発展させる姿勢で地域住民と協働する発想が必要ではないでしょうか。 住みたい・行ってみたい場所や地域をどうしたら良いかを時間をかけて練り上げることを願います。 特徴をもった地域や明るい住民が集うこと、このことが町づくりにつながると思います。	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 上美生地域における山村留学は、恵まれた自然環境のもと、地域の魅力を生かした大変意義ある取組であり、これまで多くの子どもたちに相互交流と貴重な経験を提供してきました。しかしながら、近年は受入人数が増加している状況にはなく不確定要素が大きいことから、学校の規模や児童生徒数の推移といった学校運営上の課題とは切り離して考える必要があると捉えております。	【その他】

5	63 電子メール	上美生小中配置計画について 意見です。芽室町民へ周知していただきたいです。 上美生小中配置計画について統合時期や統合先への話し合いの場や時間が短すぎます。 4月の終わりに統合・存続に向けての上美生としての方向性が決まったばかりなのに、6月17日に行われた地域説明会で統合時期・統合先の決定まで行われました。 その間、PTA 有児童の集まりで出た質問や不安な部分を教育委員会へ回答をもらうということになっていましたが1つも回答をいただけていません。 いくら予定期間が過ぎているからといってとても大事な話を急いで決めてしまうことにはないです。 また、6月20日の新聞で「芽室3小中閉校へ」ってその情報を新聞社に伝えて周りから「閉校するんだね」「芽室小学校中学校へ行くんだね」と知り合いから何件も連絡をもらい、あたかも決まったことのような印象を受けました。 決まってから新聞社に伝えるのはいいと思いますが、地域でも納得のいっていないまま地域説明会が閉じられ(6月17日)、半ば暴力的なやり方で進めている芽室町、良くないですよ。 今からでも、PTA から教育委員会に出した質疑や不安に思っていること1つ1つ回答を示してください。 そして、統合時期・統合校の話し合いをもっと丁寧にしましょう。 まだできるはずです。 今度は是非、町長も参加してください。 地域住民の思い、聞いてください。	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 ご指摘をいただいております PTA アンケートで寄せられた意見や提案については、6月2日 PTA 主催の検討会当日に資料提供いただき、依頼を受けて教育委員会職員が同席するなか、検討会のなかでお答えできるものはお答えしており、お答えできていない内容を中心に、6月29日付けで有児童保護者代表あて回答しております。 6月20日の新聞報道につきましては、教育委員会が取材を依頼したものではなく、6月23日に開催された芽室町議会厚生文教常任委員会に係り事前に教育委員会が議会事務局に提出した資料が、20日に芽室町議会のホームページにて公表され、それを報道機関が独自に記事化したものであり、教育委員会として報道の時期や内容を依頼・操作した事実はございません。	【参考】
6	65 電子メール	上美生小中学校配置計画に関する事です。 令和10年上美生小中学校、芽室南小、芽室小中学校に統合の決断をしたこと、苦渋の選択だったと思います。多数派の意見を尊重した裏には、強い反対意見もあったと思います。 個人的に思う事は、子供はどこに行こうが勝手に育ちますし、成長します。少数学校でのびのびする子供いれば、大人数学校でのびのびする子供もいます。どこにいこうが、我々親と教育委員や行政側がこれからどうするかを真剣に考えていけたらと思います。そういう意味でも、一刻も早く両校の	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 「一刻も早く両校の生徒同士の交流をしていただきたい」とのご意見ですが、そのためにも早期に本配置計画案を正式な計画として決定し、そのうえで学校間連携など子どもたちの交流事業を進めていきたい考えです。	【参考】

		生徒同士での交流をして頂きたい。令和 10 年入校時にはすでに何年来の友人になってたら素晴らしいと思います。		
7	66 電子メール	令和 10 年に上美生小中学校の芽室小中学校へ統合が決まり良かったです。そもそも小学校は人数が少なく本来なら廃校案件でしたが、特例により中学が複式になるまでは存続という決まりでした。10 年に複式になるという事で、良いタイミングだと思ってます。また、芽室南小も、同じ時期に芽室へ統合という事らしく、同時期に同じ立場の子供がいるという事で、子供達も入りやすい環境かなと思います。色々な子供達の中で切磋琢磨して育って欲しいと切に願ってます。	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 令和8年度教育行政執行方針においては、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を目指すこととし、令和9年度を開始期とする「第6期芽室町総合計画」においても、この目標を継承していくこととしております。このうち、「協働的な学び」とは、多くの仲間や他者と協力し合うことを通じて得られる学びであり、「いろいろな子どもたちのなかで切磋琢磨して育ってほしい」とのご希望は、「協働的な学び」を深める環境に通ずるお考えであると存じます。	【参考】
8	67 電子メール	小中学校統廃合の新聞報道、地域説明会について地域の合意形成がされないまま、教育委員会が強引に話を進めている気がします。 また、上美生小では児童に対して学校がなくなるような説明をしたりしています。 このような状況で、地域が分断しています 統合派、存置派どちらも子供の事を思って意見を述べているに教育委員会の対応に憤りを感じています 教育委員会には、きちんとした教育のビジョンを考えて欲しいと思います これからの時代、私は小規模な学校の教育が重要だと考えます	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 「上美生小では、児童に対して学校がなくなるような説明をしたりしている」とのご指摘ですが、同様のご指摘を6月 17日の令和8年度第2回地域説明会においてもいただいております。「発言は不適切であり、厳重に注意した」旨を教育長から回答し、謝罪いたしました。	【その他】
9	68 電子メール	学校の統廃合について 上美生地域住民として説明会に参加した感想を述べます まず統合に向かって早急に事態が動いていることに驚いています。存続の可能性に特認校や山村留学、移住促進など地域として町とともに何年も協力しあってきたのに統合に傾いたとたんにこの2ヶ月ほどで再来年の統合を目指した急ピッチな運営に失望しています。 説明会での住民側の意見のほとんどは不満や不信の声で信用構築を経ずにこのまま推進するようでは禍根は残るでしょ	①共通回答(略)	【その他】

		う。 統合は財政上の理由ではないならばなぜ子供から望んだ環境で学ぶことを失わせるのか？山村や移住者は上美生を選んで来ているのに…これから先の未来にも縁がある子供たちもいるかもしれないのに…全国各地で小規模学校の廃校が相次ぐ中、芽室町が学びの環境として田舎の学校を残し選択肢があることをアピールポイントとして喧伝してもいいのではないのでしょうか？ 説明会での「子供たちにとって最良の結果を示した」という教委の言葉は今後問われていくだろうと思います。 芽室町は子育てに最も適した素晴らしい町だよと胸を張れる運営をお願いします。むしろ芽室町ほどの町でもできないならば諦めて衰退を受け入れるしかないと思ってしまいますが…子供は地域の礎ですのでぜひ考慮していただきたい。芽室町ならできるを信じたい(^ω^)		
10	69 郵送	上美生小学校・中学校の学校配置計画について、芽室町と教育委員会の進め方に、強い不満と憤り、悲しみを抱えています。 地域住民にとって重大な問題であり、町にとっても「まちづくり」として大切な問題なはずです。 にもかかわらず、地域や保護者間で納得のいく合意が形成されない状況のまま、そして地域住民のたくさんの反対意見がある中で、6月 17 日の説明会は、半ば強制的に説明会を閉じられてしまいました。 「大事な問題だからここで決めないで話し合いを続けてほしい」の多くの意見はかき消されました。 しかも、その3日後に、決定もしていないのに、新聞発表までされてしまいました。 保護者や地域住民の意見を尊重したとはいえない、この進め方、問題ではないでしょうか。	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 6月 20 日の新聞報道につきましては、教育委員会が取材を依頼したものではなく、6月 23 日に開催された芽室町議会厚生文教常任委員会に係り事前に教育委員会が議会事務局に提出した資料が、20 日に芽室町議会のホームページにて公表され、それを報道機関が独自に記事化したものであります。	【その他】
11	70 郵送	わたしは、上美生小学校をのこしてほしいです。 理由は、小さな学校だからこそ全員でふれ合いができるからいいと思います。 わざわざ上美生がいいと思ってきた人たちもいます。だから、そんなに上美生がいいところなのがわかります。 だから上美生小学校、中学校をなくさないでください。	上美生小学校・上美生中学校の将来について、ご意見をいただきありがとうございます。 いただいたホットボイスを読み、あなたが上美生小学校や上美生地域が大好きなことや、上美生を選んで住んでいる人たちのことも考えてくれていることが伝わってきました。 上美生小学校と上美生中学校の将来のことについては、こ	【その他】

			れまで、子どもたちのこれからの学びの環境について、保護者や地域のみなさんと何度も話し合ってきました。今年の上美生小学校の1年生が1人で、来年の1年生も1人の見込みであることなど、これからの子どもの方数のことも考え、教育委員会として統合する方針を決めました。 学校のことについては、人によっていろいろな考えがあることから、個人的な意見によってではなく、子どもたち全体にとって何がいいのかを考えて判断しています。 これからどの学校に通うことになっても、新しい友だちとの出会いや、いろいろな考えにふれる学びを大切にしてほしいと思います。また、大きくなって一度上美生をはなれることがあったとしても、今の上美生への思いをずっと持ち続けてくれることを願っています。	
12	71 郵送	ぼくは、保育所の時からこの上美生でくらしてきました。上美生は自然ゆたかで1人1人が大切にされとても学びやすいいきです。ぼくはこのかんきょうですくすくと育ってきました。ぼくはこの上美生小、中学校をなくしてほしくないです。次に山村留学のことです。山村留学できた人たちは自分たちのくらしをかえてまで上美生に学びにきています。それをとうごうで卒業できないなんてかわいそうすぎます。ぼくはこのちいきがすきです。この自然ゆたかなちいきをなくしてほしくないです。	上美生小学校・上美生中学校の将来について、意見を寄せていただきありがとうございます。 いただいたホットボイスを読みました。 あなたが小さいころから上美生で暮らし、上美生を大切に思っていることが伝わりました。また、山村留学で上美生に来て学んでいる人たちのことを気遣う思いも、伝わりました。 上美生小学校・上美生中学校の将来については、今年の上美生小学校の1年生が1人であり、来年の1年生も1人となる見込みであることなど、今後の子どもの人数の見通しを踏まえ、これまで保護者や地域のみなさんとの話し合いを重ねてきました。 その結果、教育委員会として、子どもたちにとってよりよい学びの環境を考え、学校を統合する方針を決めました。 学校の将来については、人それぞれに様々な考えがあります。そのため、一つ一つの意見を大切に受け止めながらも、子どもたち全体にとってどのような学校の在り方が望ましいのかを考え、判断しています。 また、「地域をなくしてほしくない」というご意見ですが、今回の計画は地域をなくそうとするものではありません。学校を統合した後も、山村留学で来ている人たちや地域のこれからについて、地域の皆さんと一緒に考えていく予定です。 あなたが上美生を大切に思う気持ちは、とても大事なものです。今後、どの学校に通うことになっても、新しい出会いや、様々な考えに触れる学びを大切にしてほしいと思いま	【その他】

			す。 そして、将来、一度上美生を離れることがあったとしても、今の上美生への思いを持ち続けてくれることを願っています。	
13	72 電子メール	学校配置計画について思うことがあります。 当初、PTA 総会で特認校へ舵を切ることへの決を取ったにも関わらず、次年度に話を進めずに何もせずに放置した挙げ句、地域の人の話も聞かず、有児童家庭のみで統合か存続かの再投票を行い、衰退に直結するとわかっているのに、統合へ舵を切ったこと。 まだ、統合が完全に決まっていらないのに、子どもたちに学校がなくなると集会で発表した管理職へ何も対処をしていない教育委員会。 これらをしてまなお、公平を期してと言うのは、おかしいのではないかと思います。 地域の分断、そこは誰も望んでいないのに、今の現状です。 町はずっとここに住み続ける訳ではないから困らないのかもしれませんが、我々住民はこの先も何年も住み続けなければならぬのです。 学校がなくなった地域の行く末が、不安でしかありません。 お願いです。 どうか考え直す時間を持ってください。	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 特認校制度の導入検討に係るご意見ですが、令和6年2月の PTA 意見交換会以降制度の説明を行ってきたなかで、令和7年3月の PTA 総会後に PTA 会長から制度導入の要望をお受けし、令和7年6月から7月に次期小中学校配置計画策定に向けて実施した保護者等アンケートにおいて、制度の説明と併せて意向把握のために設問として設定し、全町的な運用希望について把握しております。なお、特認校制度の導入判断はあくまで、次期小中学校配置計画とセットで考えていくこととして、ご説明してきております。 次に、「有児童家庭のみで統合か存続かの再投票を行い、統合へ舵を切った」とのことですが、意向投票の実施判断に教育委員会は関与しておりません。 そして、「子どもたちに学校がなくなると集会で発表した管理職へ何も対処していない」とのご指摘ですが、同様のご指摘を6月17日の令和8年度第2回地域説明会においてもいただいております。「発言は不適切であり、厳重に注意した」旨を教育長から回答し、謝罪いたしました。	【その他】
14	73 電子メール	上美生小中学校について、くだらない！！ 教育委員会が数年に渡り、特認校の提案等色々やってきて、それでもまとまらなく、やっと投票で道筋が出て、それに対して動いてくれているのだから、上美生の住民として通っている子供達の親が出した結論を受け入れるべきだと思います。 子供達が学童に行く賑やかさが見れなくなるのは寂しくなりますが、聞いた話だと今後1人とか2人とかしか毎年小学校に入らないとなると仕方無い事だと思います。 時代の流れなので、コレ以上、上美生の恥をこの用な場所に投稿辞めませんか？	①共通回答(略)	【その他】
15	74	私は今回令和 10 年に統合が決まりよかったと思っています	①共通回答(略)	【参考】

	電子メール	す。 これから入学する子供が 1～3 人しかいないのに地域も学校にお金払ってるんだから残せとか子供がいないと過疎化が進むとかそれは子供利用して地域を維持したい言い訳に聞こえます。 今統合を反対している保護者もちゃんと保護者会で統合への投票について挙手で確認とったり 質疑等なの質問を受け付けたのに今さら自分はその会に来ていないだの、この投票は乱暴だの今さら言うのはそれこそ乱暴だと思います。 親はそれぞれ学区があり町の小中学校へ行かせたくてもそれは選べません。 もし選べるなら子供の希望で町の学校へ通わせたいですしこういう自我が強い地域で教育はさせたくないです。本当に今我慢しています。 まず豊かな過疎を言い出す前に不満も対立も出ない豊かな地域になってほしいです。 教育委員会の方々にはぜひ統合した後の子供のケアや気持ちに寄り添ってもらって統合を前向きに判断して進めていただきたいです。		
16	75 電子メール	上美生の学校の統合について、統合に反対する方の意見が複数寄せられていますが、なぜそのようなことをするのでしょうか？ 今まで散々話し合うチャンスはありましたし、統合に賛成する意見も多かったです。面と向かっては言い出しにくかっただけで。 なんというか無言の圧力で存続させようという意図が透けて見えていましたし、その次はホットボイスかと、残念な気持ちになりました。	①共通回答(略)	【その他】
17	76 電子メール	小学校統合について 上美生地区が芽室小学校で美生地区が西小学校なのはおかしい気がするのですがなぜですか？ 西小学校の人数も少ないので上美生地区の統合は西小学校の方が良いのでは？ 西小学校の方が農家さん多いと思うので何かとうまくいくんじゃないでしょうか？ 投稿みると色々もめているようなのでそのような状況での	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 「上美生地区が芽室小学校で、美生地区が西小学校なのはおかしい気がする」とのご意見について、お答えします。 上美生小・中学校の統合先を芽室小・中学校と判断している理由は、以下の点を総合的に判断したものです。	【参考】

		統合は統合先の学校に迷惑がかかるのでやめてほしいです。	1 芽室町立小中学校配置計画では、児童生徒の負担に配慮し、通学に要する時間を「概ね 50 分以内」としておりますが、現時点の想定において、最も長く乗車する児童生徒は、西小学校を統合先とした場合に 50 分を上回る見立てである一方、芽室小学校においては 50 分以内が見込めること 2 往復ピストン運送するスクールバスにおいて、次の乗車時刻に迎えが間に合わないことが見込まれること 3 上美生中学校で部活動として取り組む、ソフトテニスとバドミントンについて、いずれも芽室中学校において受け皿があり、部活動の継続性を担保できること	
18	77 電子メール	上美生地区の小中学校が統合されることに反対です。上美生は中心部に行くのに 20 分ほどかかります。自家用車なら学校まではその時間で通えますが、みんながみんな送り迎えをできません。酪農家が多く、仕事の時間に送迎ができないと、スクールバスで通うと思います。そうすると子供の通学負担過多です。 実際に通っていたので、スクールバスに関して言うと、2 便制でも最初に乗ると 30 分、冬では 40 分ほどかかるのでそういった通学にかかる時間の配慮なども考えて頂きたいです。山村留学や親子留学で上美生に魅力を感じて来ている人がいるのに学校を無くすという判断は考えられません。芽室町が自分たちで人口減少を望んでいるかにも捉えられます。小さい学校では、大きいところにはない良さが沢山あります。そういった学校がないとこれからの教育にはついていけないと思います。 札幌でも小中一貫校校として学校を残しているのので、数を減らしても学校を残すことを考え直して欲しいです。	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 「山村留学や親子留学で上美生に魅力を感じて来ている人がいるのに学校を無くすという判断は考えられない」とのご意見について、お答えします。 特に、現在小学生の児童とともに親子留学するご家庭への配慮については、統合時期を提案するにあたり教育委員会としても思案しましたが、ご家庭それぞれに事情や希望があり、その事情や希望を個別にくみ取ったうえで、すべての方にとって最適な統合時期を見出すことは現実的ではなく、小中学校配置計画の基本方針に基づき、中学校の複式学級編成は避けるべきと考え、判断しております。 従いまして、親子留学で上美生小中学校区にお越しのご家庭には、ご希望の修学期間までお住まいいただき、他児童生徒のみなさんとともに、スクールバスで統合先学校に通っていただくなどの配慮について、個別に相談させていただく予定です。	【参考】
19	78 電子メール	上美生の学校について 子供の事なのに、なぜ子供のいない方が学校を残せとか統合しろとか意見を言うのだろう？ その犠牲になるのは人の子なのに、、、と、 以前から疑問でしたが、こう無事に町が学校統合を決断してくれ個人的にはほっとしています。 お世話になった先生も是非芽室にもきてもらえたらなあ。 少しでも子供が芽室に早く馴染めたらなあと思ってます。	①共通回答(略)	【その他】

20	79 電子メール	小中学校の統合について 先週末 6 月 20 日の新聞誌面に、『町教委方針として、小中学校を統合する方針を固めた』との記事が掲載されたことに驚いています。 5 月 13 日、6 月 17 日と 2 回にわたって開かれた、次期芽室町小中学校配置計画に係る説明会において、町民、保護者から賛否を含むさまざまな声が飛び交う中、統合について納得がいかない、統合となった際、統合に至るまでの子供達に対する対応について様々な不安に対する質問や要望の声が上がっている中、それに対する何の回答、対応もなく、ただただ「学校統合時期と統合先に対する案を了承いただきたい」というものでした。 教育委員会からの「地域や保護者の声を可能な限り聞き、尊重しながら判断してゆく」との言葉とは裏腹に、何も策を講じない状態の児童数の推移のみに基づく学校配置計画ありきで南小学校の統合時期と同時に行うことで効率的に実施しようとの意図で動いているとしか受け取れない進め方です。この容認できない進め方に異論を唱える方々の質疑が 3 時間近くに及ぶ中、終わりの見えない説明会に、一旦区切りをつける形で閉会となったにもかかわらず、住民納得の上で方針を決めたかのような新聞記事が掲載されるのは非常に遺憾です。 地方の過疎化や少子化が進む中、町の存続、発展のカギにもなる子育て世代の流入、定住による人口増加の促進は必要不可欠なものであると考えます。 少子化や核家族化により、小さな家庭、家族のコミュニティで育った子供が、小学校、中学校、に上がる際の人数のギャップや、先生対生徒数のギャップなどにより不登校となっている児童が増えているなか、多様な特性を持った子供達がそれぞれの特性に合った学校を選択できるような教育環境づくりは町の魅力づくりにつながると個人的には思っているのですが、町や教育委員会は今後の芽室町の教育環境づくりに対してどのような構想をお持ちなのかを伺いたく、ご回答お願いいたします。	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 6 月 20 日の新聞報道につきましては、教育委員会が取材を依頼したものではなく、6 月 23 日に開催された芽室町議会厚生文教常任委員会に係り事前に教育委員会が議会事務局に提出した資料が、20 日に芽室町議会のホームページにて公表され、それを報道機関が独自に記事化したものであります。 次に、「南小学校の統合時期と同時に行うことで効率的に実施しようとの意図で動いている」とのご指摘ですが、これまでご説明していますとおり、統合時期として令和 10 年度の提案理由は、上美生中学校において複式学級編成が生じる見込みであり、教育環境の大きな変化を踏まえたものですので、芽室南小学校と時期を合わせたものではありません。 さらに「町や教育委員会は今後の芽室町の教育環境づくりに対してどのような構想をもつのか」については、次のとおりお答えします。 今日、人口減少社会の到来、生成 AI の利活用の本格化、及びグローバル化の進展などにより、この先の時代が極めて不確実で不透明な時代を迎えています。 このようなことから、芽室町教育委員会においては、これからの時代が決して過去の延長ではないことを踏まえ、「子どもたちの個性や可能性を引き出し、自ら未来を拓く力を育む」教育行政を推進しているところです。 具体的には、学校教育の基準となる学習指導要領を踏まえ、一人一人に応じた「個別最適な学び」と、みんなで学び合い高め合う「協働的な学び」の一体的な充実を図る中で、将来、子どもたちが先行き不透明な社会においても他者と協働しながら自立して生きていくことができるよう、その基盤となる資質能力を育むことを重視しています。加えて、自らを律しつつ、他者と協調し、他者を思いやるなど、主体性や社会性、多様性、寛容性を含めた豊かな人間性の育成などにも努めているところです。 その基軸となるのが「3:7の学び」であり、「アウトプットが人を成長・進化させる」ことから、1 単位時間で言えば、知識の理解などインプットが 3 以内、思考・判断・表現等が 7 以上	【その他】
----	-------------	---	---	-------

			とする授業づくりに各学校で取り組んでいるところです。 上述のことや学校は小さな社会とも言われることなども踏まえ、今後の本町の教育環境のあり方としては、小・中学校とも単式学級を最低基準とすることはもとより、子どもたちの将来につながる教育に責任を持つ観点から、ごく少人数の学級ではなく、学年ごとの適切な学びや活動ができたり、クラス替えができたりすることのできる教育環境の保障に努めてまいりたいと考えます。 したがって、次期学校配置計画(令和9年～16年)においては、後半4年間は、その先の展望期間とも位置づけ、次々期計画期間にあっては小・中学校とも町内1校ずつになる可能性も視野に入れた配置計画の検討も進めていく考えです。	
21	80 電子メール	小中学校統合について 統合することは児童、生徒が少なくなっている現状仕方ないことだと思いますが、その時期があまりにも早いのではと感じます。南小はすでに準備期間に入っているようですが、最低でも同じ長さの準備期間を上美生小中にもあるべきではないかと思えます。少人数から多人数へと環境の変化は大きく、特に精神面への負担は危惧されます。 このことから、もっと慎重に統合時期を考えていただきたいと思えます。	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 改めてとなりますが、統合時期として令和10年度の提案根拠は、上美生中学校において複式学級編成が生じる見込みであり、避けるべきであるとの考えに基づくものです。 また、統合時期の提案に対して地域からの回答を求めていましたが、期日までに取りまとめられた代案は示されず、有児童保護者代表からは、団体として行ったアンケートについて、「教育委員会の提案通り進めてほしい」との回答が過半数を占めている資料の提供を受けるとともに、意見の一致をみるに至らず様々な意見を付してうえで、「教育委員会の判断に委ねる」旨の回答書をいただいています。 これらの経緯から、統合時期を令和10年度とした教育委員会の最終判断は根拠を持つものであり、早期に次期配置計画を完成させ、学校間連携などを進めたい考えです。	【参考】
22	84 電子メール	上美生小中学校の統廃合について。 ホットボイスだけを見ると令和10年に統合に反対意見が多いのに何故統合を進めるのか？教育委員会が統合を強引に進めていると勘違いされる町民が多数出てくるのでは？と危惧したので投稿させていただきます。 今回の統合は未就学児を含む小中学校に子供が通う保護者によって、子供1人一票というルールで投票を行い、統合30	①共通回答(略)	【参考】

		票、存続 26 票、白票 1 票という結果を受けての事です。 また、投票後に行われたアンケートの回答結果は 令和 10 年に小学校、中学校の統合を適切だと思う(予定通り進めて欲しい) 55% もっと時期を遅らせるべき(準備期間が足りない)30% もっと時期を早めるべき(早期に環境を整えてほしい)2.5% わからない、どちらとも言えない 15% 統合先について(教育委員会提案:芽室小中学校) 賛成 52% 反対 7.5% わからない、どちらとも言えない 40% という状況です。 教育委員会の対応云々の前に現在上美生小中学校に通っている子供達の保護者の多数が統合に向けて気持ちが向いている状況です。 これから先、小学校入学予定児童が毎年 1~2 人という状況で令和 10 年の統合は適切だと考えます。予定通り進めて頂きたい、よろしくお願いします。		
23	85 電子メール	今ホットボイスで沢山意見のでている、学校配置計画についてです。ホットボイスに投稿してくれる方は氷山の一角だと思いますが、上美生地域にとってとても大きな問題です。 上美生地域では、2014 年に地域の 10 年後を想像し、その後も元気な地域であるためには、というアンケートを高校生以上全員に対しておこないました。 452 通配布し回答は 63%でした。 元気であり続け、ここで暮らし続けるために、地域に必要なものは、①学校・保育所の存続 ②お店の存続(このころは農協店舗)③交通手段 でした。どれもとても大きな課題ですが、地域に暮らす私たちはあきらめずに取り組んできました。2018 年に NPO 法人を設立し、お店をはじめました。 同時に地域交通 KAMI 便を有償運送ではじめました。どれも苦労の連続ですが、それも地域の将来を思い頑張っていることです。 やっとこれからは、学校のことと結びつけ、移住者を呼ぶことや山村留学を地域としっかり結びつけれるか、とりかかりはじめたところに、いきなり閉校との決定を教育委員会がだ	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 「大きな学校で学ばせたい保護者の気持ちも考えて、通学できる環境づくり」「小規模校で育てたいことを思う保護者の願い」「町なかからも、この環境での教育を望む保護者の願い」これらすべてを叶える「子供を学ばせる学校の選択を弾力的に考えること」とのご意見について、お答えします。 学校教育法施行令において、市町村内に小学校(中学校)が 2 校以上ある場合、教育委員会が就学予定者が就学すべき小学校(中学校)を指定することとされており、「芽室町立学校設置条例」に町立学校を規定したうえで、「芽室町立小、中学校通学区域に関する規則」に、学校ごとの通学区域を指定しております。 ご意見は、この通学区域を小学校、中学校それぞれ 1 つにして、就学する学校を自由選択性にすべきと受け取れますが、その場合、上美生小中学校のみならず、すべての小中学校の児童生徒が自由選択性の対象となります。	【その他】

		しました。 人口が急激に減少することは誰でも理解しています。教育委員会は将来は学校は小中一つずつでと発言されていましたが、子供の数だけで決めることではないと思います。 と同時に、子供を学ばせる学校の選択を弾力的に考えることは文科省でも通達されていることです。だんだん小さくなっていく町ならば猶更、まちづくりの観点からも子供の教育環境は大切だと考えます。上美生地域に暮らしながら、大きな学校で学ばせたい保護者の気持ちも考えて、通学できる環境づくりはとても大切です。その気持ちを叶えたいうで、豊かな自然環境の小規模校で育てたいことを思う保護者、町なかからも、この環境での教育を望む保護者、地域にとって大切な核である学校、の願いが叶う、提案している新たな形を検討してください。案をだしてもその場でできません。と即答せず、検討してください。他の市町村でやっているところはあるので、芽室町が子育てするのにいい町。と、これからなっていくように、住民とともに考え進んでいくのが本当の協働ではないでしょうか。よろしくお願いいたします。	本町において自由選択性を運用した場合、年度ごとの各校児童生徒数を正確に見込むことができなくなり、児童生徒数の変動に合わせてクラス数も年度ごとに増減が生じかねず、教職員の適正配置を計画的に北海道教育委員会に求めていくことができない不安定な学校運営となります。そしてその結果、学校間の教育格差の発生など、児童生徒の教育環境そのものに直結する懸念があります。また、児童生徒の通学時間が増え身体的負担が増すとともに、ご希望による就学先への通学全てにスクールバスを運行することは出来かねますので、保護者のみなさんの負担も懸念されます。 本町における通学区域の指定は、そのような事態を生じさせることなく、児童生徒の教育環境の安定的確保を目的とするものであり、次期配置計画においても、現在の「市街地における特定地域選択制度」及び、「特別な事情に基づく個別審査による校区外通学の許可」を超える学校選択の弾力性を用いる考えはございません。	
24	86 郵送	上美生小中の統合について。 以前、芽室町に勤務していた立場として、思うことを書かせていただきます。 児童生徒数の減少による統合はやむを得ないことであることは理解できます。ただ、令和9年度末という時期については、早すぎるのではないのでしょうか？住民感情はもとより、小規模校である上美生小中の子たちが、大規模校かつ生活圏のちがう芽室小中に通うということについて、子どもたちの立場に立って、例えば乗り入れや交流授業等を通して少しずつ融和させてから統合していく時間的な猶予があってもいいのでは？ 町としての統合に向けた、子どもが安心して新しい環境に慣れるような教育的な取組を、ある程度時間をかけてから統合ということは、できないものなのか？と思います。少なくとも、あと1年半で統合というのは、子どもにとって負担もあり、住民の町に対する不信感につながるのでは？と思ってやみません。 進め方の再考をした方がいいのではないのでしょうか。	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 改めてとなりますが、統合時期として令和 10 年度の提案根拠は、上美生中学校において複式学級編成が生じる見込みであり、避けるべきであるとの考えに基づくものです。 また、教育委員会による統合時期の提案に対して地域からの回答を求めていましたが、期日までに取りまとめられた代案は示されず、有児童保護者代表からは、団体として行ったアンケートについて、「教育委員会の提案通り進めてほしい」との回答が過半数を占めている資料の提供を受けるとともに、意見の一致をみるに至らず様々な意見を付してうえで、「教育委員会の判断に委ねる」旨の回答書をいただいています。 これらの経緯から、統合時期を令和 10 年度とした教育委員会の最終判断は根拠を持つものであり、早期に次期配置計画を完成させ、学校間連携などを進めたい考えです。	【参考】

25	87 電子メール	芽室町学校配置計画について 急速な少子化が全国的な問題となる中、この先の教育環境を考える上で、人数だけで帳尻を合わせることに疑問があります。 子どもの人数を大きな学校にまとめることにより、教員一人に対しての子ども達への目配りがどうしても薄くなり、いじめや不登校などこの先解決されていかない問題が増えるように思います。 教育水準が高い海外の教育環境を見渡すと、ークラス 20 人前後やそれ以下に設定されている国があり、きめ細かい指導が行き届き、一人一人の子どもに手厚いサポートを施せるという利点があるということが分かります。 人数が多ければ良いということではなく、教育環境をより良いものにするために少人数制の良さを教育委員会ではどのように捉えているのでしょうか？ 現に上美生地域での今までの取り組みは町にとっても移住者を増やしてきた実績があるのではないのでしょうか？ 保護者への説明の中に、教育の専門的な立場からのあらゆる提案は無かったと思います。考えて選び取るだけの材料がほとんどないままに、ただアンケートをとるだけの簡単な意見の募集で地域や保護者、子ども達の意見を全て汲み取ってはいないと感じています。 丁寧に取り組むという言葉があるのであれば、もっと時間をかけて少子化における教育環境の在り方を地域住民とともに考えていく必要があると強く思います。	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 「アンケートをとるだけの簡単な意見の募集で地域や保護者、子ども達の意見をすべて汲み取ってはいないと感じる」とのご意見について、お答えします。 ご意見にある「アンケート」についてですが、教育委員会として実施したアンケート調査は、「10 年後の望ましい学校の姿に関するアンケート(令和7年6～7月)」であり、学校への期待や適正な学校規模、区域外通学の希望など全体的意向や傾向を把握・分析することを目的としたものでした。また、本件に係る団体の動きとしては、PTA 役員による有児童保護者を対象とする意向投票、さらに有児童保護者による統合時期及び統合先についてのアンケートがありますが、いずれも、実施判断はもとより、実施手法や設問設定等すべてに、教育委員会としては関与しておらず、その結果を踏まえて提出された団体としての要望等を重要な判断材料としてまいりました。	【その他】
26	88 電子メール	学校配置計画にかかわる上美生小中学校の PTA 投票とアンケートについて 「PTA 投票では統合が多数という結果だった」とされていますが、その結果だけで保護者全体の意思が十分に示されたと考えることには疑問があります。 PTA 投票は当初「1 家庭 1 票」と認識していましたが、途中で「子ども 1 人につき 1 票」という方法になりました。投票方法が変われば結果の受け止め方も変わります。その経緯や理由についても丁寧な説明が必要ではないでしょうか。 また、投票後のアンケートについても、回答方法は各家庭で統一されておらず、夫婦それぞれが回答した家庭もあれば、1 家庭で 1 件のみ回答した家庭もありました。そのようなアン	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 PTA 投票や(有児童保護者)アンケートについて、その手法などへの疑問を述べられるとともに、「投票結果の扱いは慎重であるべき」とのご意見ですが、教育委員会としては、それらの実施判断に関与しておりませんし、その手法を含め詳細を分析する立場にありません。従前より地域や団体として取りまとめられたご意向を尊重する姿勢であり、団体として提出された要望等を重要な判断材料としてまいりました。	【その他】

		ケート結果を、保護者の意思を示す投票結果のように扱うことには慎重であるべきだと考えます。 さらに、投票結果やアンケート結果を見ても、保護者の考えは一方に大きく偏っているのではなく、様々な思いがあることが分かります。 だからこそ、「統合か存続か」という二者択一ではなく、両方の思いをできる限り尊重できる選択肢についても検討していただきたいのです。 大規模校で学びたい子どもにはその環境を、小規模校だからこそ安心して学べる子どもにはその環境を。それぞれの子どもに合った学びの場を確保するという視点から、地域全体で納得できる学校のあり方を考えていただくことを願っています。		
27	89 電子メール	上美生小中学校統合について 上美生小中学校の統合は、有児童 PTA のみの投票で決まりました。しかし、約半数の保護者は存続を希望しているにも関わらず、教育委員会は「保護者の意見を尊重した」として、令和 10 年4月には芽室小中学校に統合、とじてしまっています。児童数減少に伴い、統合するのは世の流れかもしれませんが、全てを大規模校に集約する必要はないのでは？大規模校に通いづらさを感じている子どもは大勢いると思います。児童生徒一人一人への手厚さは小規模校の強みです。移住や山村留学で来ている方は、上美生の学校に通わせたくてきた人ばかりです。そういった地域住民の声も聞かず、統合を推し進めるのはいかがなものでしょうか。また、「子どもファースト」と言っていますが、子供達の声は聞きましたか？子供の教育環境は親が決めるのは当然ですが、子供が当事者です。子供たちの声にも耳を傾けて欲しいです。	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 「子供たちの声にも耳を傾けてほしい」とのご意見について、お答えします。 子どもの気持ちや意見表明を重んじることは当然、非常に大切な価値観ですが、一方で、自分たちの通う学校の存続や閉校・統合というテーマに対して、ひとり一人に結果につながる(あるいは結果に責任を感じさせかねない)選択を直接表明させることは、酷なのではないかと考えます。 そのため、教育委員会としては、令和7年6月の保護者アンケートにおいては、お子様の実態や声なども踏まえながらご回答をお願いするとともに、地域に様々なご意見がある現状において、児童生徒の望む教育環境、学校生活への不安や希望を日ごろから受け止め、最も身近で応援する保護者の皆様の声にも最も耳を傾けるべきと捉えるなか、協議を進めてまいりました。	【参考】
28	90 電子メール	上美生の学校統合について 保護者の立場から賛成です。私が知る限り、統合に強く反対しているのはほとんどが在校生の保護者ではありません。山村留学などを理由に挙げていますが、そのメリットばかり取り上げデメリットを語ろうとしません。本当は何が起きているのか教育委員会も知っているはずで	①共通回答(略)	【参考】

		す。 保護者はそういった事も含めて統合に賛成しているということ を理解して欲しいです。 おとなのために子供が犠牲になるような選択はしてほしくない ので、統合を進めてください		
29	93 郵送	小中学校の統廃合について様々な意見があるところですが、 問題は教育委員会の進め方の稚拙さとリーダーシップの欠 如につきると思います。地域説明会でも何をどうしたいのか を説明しない、教育委員会としての考えを述べず、地域や保 護者の気持ちを尊重するって、当たり前の前提を多角的に議 論もせず、単純な多数決で結論と責任を丸投げ。何も語れな い、信念もなく調整力も発揮できないリーダーによる結論に 不信感しかないということではないでしょうか。賛否は当然 あるでしょう。進め方と結論の導き方を事前に説明しなかつ たことがすべてでしょう。行政らしくない稚拙な対応が混乱 を招いています。失敗を自覚する場面に一旦戻ってやり直し たらいかがでしょうか。	①共通回答(略)	【その他】
30	94 郵送	上美生で子育てを終えた地域の住民です。 ホットボイスにあった、子供1人1票というのは、子供の気持 ちを聞いて親が投票したということでしょうか。その結果が 30 対 26 ということだったのですね。 子供の投書もありました。 私もよく道を通りすぎると知らない名前のお子さんですが、 先に大きな声であいさつしてくれます。自分の意見をしっか り伝えることのできる子供を育てている地域です。学校がな くなると核を失った上美生はなくなります。町が決めた事に なすすべもなく、むなしい気持ちです。上美生の子は本当に すばらしい子ばかりです。これだけは伝えたい。	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 上美生の子どもたちや学校を大切に、誇らしく思っている お気持ちがよく理解できます。将来、子どもたちがどの学校 に通うことになっても、これまで同様、子どもたちを温かく見 守りいただきたく存じます。	【その他】
31	97 電子メール	上美生小中学校の統廃合について、保護者の目線から見た これまでの経緯と今後についての意見を述べさせていただきます。 <令和8年3月までの経緯> 令和4年～令和6年 教育委員会とPTA、小規模特認校化 について話し合いを重ねる	①共通回答(略) ②追加説明 最後に、次の点については、追加説明させていただきます。 文中の「この案を採るか代案をまとめるかを12日間のう ちに行うように」迫り、地域と保護者がほとんど協議の時間	【その他】

	(2年以上進展なし) 令和6年度PTA総会で決をとり、令和7年度4月に教育委員会へ小規模特認校化を要請 (約10か月進展なし) 令和8年2月上美生地区協議会ほか6団体から、学校存続の要望、特認校制度の導入、広域通学の提案など「上美生小中学校の存続と教育環境の充実に関する要望書」を提出 ここまで約3年、地域もPTAも学校存続のための特認校化に向けて動いていたと認識しています。また、地域では保護者の中に大規模校に通わせたいという声があることもふまえ、上記のとおり広域通学についても提案していました。 しかし、教育委員会からの回答で認められたのは特認校化のみでした。 <令和8年3月以降> 特認校化だけが認められた状態で存続、となると大規模校に通いたい子どもの希望が叶いません。町の学校に子どもを通わせたい保護者が声を上げ、結果として令和8年2月に提出した要望はいったん保留となりました。 そこまでは良かったのですが、その後議論が「存続」「統合」の二択になり、保護者・地域住民が「存続派」「統合派」に分断されてしまいました。 二択の多数決ではどちらに決まったとしても多くの人の意見や想いが反映されません。子どもたちにも我慢を強いることになり、切り捨てられた側の不満が蔓延してしまいます。 PTAは投票という方法を選びましたが、結果としてどちらが多かったとしてもその後丁寧に協議を行い、逆の立場の意見も取り入れながら要望をまとめるものと思っていました。 しかし、PTA有児童会員(※1)による投票で「統合」という結果が出ると、統合案の叩き台を出すようPTAから依頼された教育委員会は「小中ともに来年度末で閉校・芽室小中に統合」という案を提示、「この案を採るか代案をまとめるかを12日間のうちに行うように」と迫り、地域と保護者がほとんど協議の時間を与えられない中で雪崩のように来年度末の閉校が決まっていきました。 投票で「統合」に票を投じたのは総票数の約53%(※2)、その後のアンケート(これはそもそも複数名回答した家庭と1名のみ回答した家庭が混在するので、投票と同列には扱えませんが)で教育委員会の案に賛成したのが回答の約55%。	を与えられない中で雪崩のように来年度末の閉校が決まっていきました」について、お答えします。 教育委員会としては、令和6年6月13日「上美生小中学校の次期学校配置計画に係る意見交換会」開催時より、令和8年8月の計画決定をスケジュールとしてお示しながら、協議を進めてまいりました。 また、令和7年10月28日「令和7年度第1回上美生小・中学校の次期配置計画に係る説明会」においては、改めて8年8月の計画の答申・最終計画決定とともに、5月のパブリックコメントを含めより詳細のスケジュール案についてご説明し、地域のご意向のとりまとめをお願いしてきました。 一方、実際の協議は予定どおり進まず、何度もスケジュールを組み直しながら地域のご意向をぎりぎりまでお待ちした結果、いよいよ8月の計画決定に組み直しの効かない時期を迎え、結果として統合時期・統合先の提案への回答期限を短期間に設定せざるを得ませんでした。 次期「芽室町立小中学校配置計画」は、上美生小中学校区のみ計画ではなく、町内すべての町立学校を対象とするものであり、令和9年度からの計画実行には、予算要求を含め、8年度からの取組が必要となります。後段の「時間がかかって」とのご意見を含め、既に決めなければならない時期を迎えており、期限を決めて協議を進めてきた経緯を踏まえて、ご理解ください。	
--	---	---	--

「過半数が賛成している」という表現は間違いではありませんが、圧倒的多数ではありませんし、多数派以外の声は一切反映せずに切り捨て、0:100 で物事を決めるというのはおかしいと思います。内容がたとえ「存続」であったとしても同様です。

教育委員会が最終判断を伝えた説明会では保護者・地域住民から再考を求める声が相次ぎ、質疑は三時間以上にも及びました。上美生地区協議会からは「重要な案件で簡単に答えは出せない」「これからも地域で協議していく」と書面を出している中での性急な結論でした。協議を強引に打ち切れ、合意形成が図られないまま放置されて、今も地域は分断されたままになっています。

教育委員会側としても、「地域の声を聞いたのに」「色々な意見がある中すべての人を満足させることなどできない」「どうすれば良かったと言うのか？」とお考えかと思いますが、住民の間に入っていただきたかったのです。町民の様々な声を吸い上げてまとめること、それは行政の役割ではないのでしょうか。異なる意見を聞いたうえで、有識者会議などを開き双方の想いを汲んだ案をまとめていただければ、こんな事にはならなかったのではと思います。

実際に PTA の話し合いでは異なる意見が入り乱れ、最終的には「こうして保護者間で反論し合っても溝が深まるだけだから、教育委員会にとりまとめてもらおう」ということで、様々な意見を取り入れた案の作成を依頼しましたが(その結果、話し合いの内容が何も反映されていない、元の教育委員会の案がそのまま出されたのですが……)、そうするしかない状態まで溝が深まっていたということをご理解いただきたいのです。何年もの間特認校化を保留にし続け、統合の話が出た途端に一か月半で話をまとめようとした教育委員会の在り方がその一因であることを認め、完全な満場一致は難しくとも地域住民と保護者の多くが納得できるよう計画を再考していただけないでしょうか。

結果として多数決で決めるしかないような問題も世の中にはあるかもしれませんが、今回の件では学校をコミュニティの核と捉える地域住民・町の大規模校に通わせたい保護者(子)・地元の小規模校に通わせたい保護者(子)という異なる立場の人々が納得できるようなやり方があると思います。

面倒でも時間がかかっても、子どもたちにとってより良い教

		育環境を考え実現できる芽室町であってほしい。子育て人口や子どもの減少といった課題の解決もその先にあると考えています。 ご検討よろしくお願いいたします。 ※1 上美生のPTAは有児童会員のほか、長年会費を支払っている地域会員によって支えられています。 ※2 この投票は子の人数分投票できるという方式で行われたので、有児童会員の〇%ではなくこのような表記にしました。		
32	98 電子メール	上美生小学校の統合について 上美生に通う子供たちは学校を残して欲しいと考えている児童が多く、親の意見ばかりを鵜呑みにして、実際に通う児童、生徒の話を聞かないのはどうなのかなと思います。 小学校中学年で学校を残したいからと言って校長先生に直談判に行くほど残して欲しい児童がいるのに、話を聞かないで統合してしまうのはとても可哀想ですし、子供は納得しないと思います。大人の意見ばかり聞いていては良い教育がなりいかなくなると思いますので、考え直していただきたい	このたびは、上美生小学校・中学校に係る次期芽室町立小中学校配置計画案(以下、配置計画案という。)について、ご意見をお寄せいただきありがとうございます。 「上美生に通う子供たちは学校を残して欲しいと考えている児童が多く、親の意見ばかりを鵜呑みにして、実際に通う児童、生徒の話を聞かないのはいかがか」とのご意見について、お答えします。 子どもの気持ちや意見表明を重んじることは当然、非常に大切な価値観であります。一方で、自分たちの通う学校の存続や閉校・統合というテーマに対して、ひとり一人に結果につながる(あるいは結果に責任を感じさせかねない)選択を直接表明させることは、酷なのではないかと考えます。 そのため、教育委員会としては、令和7年6月の保護者アンケートにおいては、お子様の実態や声なども踏まえながらご回答をお願いするとともに、地域に様々なご意見がある現状において、児童生徒の望む教育環境、学校生活への不安や希望を日ごろから受け止め、最も身近で応援する保護者の皆様の声に最も耳を傾けるべきと捉えるなか、協議を進めてまいりました。 改めてとなりますが、次期小中学校配置計画は令和9年度から向こう8年間の計画であります。現在就学する児童生徒は元より、これから就学することもたちの教育環境も考えた計画であるべきと考えます。	【その他】
33	99 電子メール	上美生の生徒の親です。統合先の芽室中までバスで何分ですか？長くなるなら、途中トイレできるところ設置してください。お漏らしでもしたら恥ずかしくて学校行けなくなります。必ず設置してください。	このたびは、上美生小学校・中学校に係る次期芽室町立小中学校配置計画案(以下、配置計画案という。)について、ご意見をお寄せいただきありがとうございます。 配置計画案においては、スクールバスでの通学について、	【参考】

			現在同様、概ね 50 分以内とすることを基本方針としております。令和 10 年度に学校を統合した際の送迎ルートや乗車時刻は、実際に利用を想定する児童生徒をもとに算定中であり、まだ具体にお示しすることができませんが、仮に通学時間が 50 分を大幅に超える場合は、増便を検討することとしております。 ちなみに、現在町内でスクールバスを利用する児童生徒(の保護者)から、バス路線上にトイレ設置のご要望を受けたことはなく、一般論として、乗車前にトイレを済ませていただければ、ご心配には及ばないのではないかと考えます。	
34	100 電子メール	上美生の配置計画 議論の時間をもっと取るべきと言う方いますが、充分取られてると思っています。 そもそも、議論を「いつまで」やるのかって部分が抜けた状態で意見色々言われても行政側も困ると思います。ホットボイスだから好き放題言うのは良いかも知れないが、一年、2年、3年、議論が長引き計画が遂行されなければ、複式の状況をただただ延長してる状態が長引く為、一刻も早い芽室との統合を望みます。	このたびは、上美生小学校・中学校に係る次期芽室町立小中学校配置計画案(以下、配置計画案という。)について、ご意見をお寄せいただきありがとうございます。 配置計画案の策定に際しましては、令和4年度から、説明会や意見交換会、アンケートなど、さまざまな形で皆様の声を伺ってきました。また、出生数の減少に基づく児童生徒数の急激な減少推計や、上美生小学校の本年度の入学児童が1人、来年度も1人となるとともに、上美生中学校が令和10年度に複式学級編成となる見込みのなかでも、結論をもって説明するのではなく、地域の意向を最大限尊重する姿勢を崩さず、協議を進めてまいりました。 次期配置計画案は、上美生小中学校区のための計画ではなく、町内すべての町立学校を対象とするものであり、令和9年度からの計画実行には、予算要求を含め、令和8年度からの取組が必要となることを踏まえて、対応してまいります。	【参考】
35	106 電子メール	上美生小・中学校を『北海道初の公立・不登校支援・小規模特認校(または特色ある学びの拠点)』として整備することを国・北海道・芽室町に提案する上美生だからできる教育！上美生小・中学校は、 * 少人数教育 * 自然豊かな環境 * 一人ひとりに目が届きやすい * 落ち着いた学校生活 という特色があります。そのため、 * 大規模校になじめない子ども * 不登校・不登校傾向の子ども	次期芽室町立小中学校配置計画案にご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。 上美生小・中学校を「北海道初の公立・不登校支援・小規模特認校」として整備するご提案ですが、本町の小中学校は第一に、それぞれの校区児童生徒の学びの保障を目的として設置しており、校区を越えて不登校支援の充実を標榜する学校を整備する考えはありません。 なお、本町においては、誰一人取り残さない学びの実現を目指し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る教育を推進するとともに、「不登校支援システム」等に基づく組織的・計画的な不登校対策・支援の実施に一層努	【その他】

	* 教室での人間関係に不安がある子ども * 自然体験を重視した教育を希望する家庭 新たな学びの場となる可能性があります。 全国にも事例があります「北海道江別市「野幌小学校」 * 北海道内の小規模特認校 * 市内全域から通学可能 * 住所を移さず通学できる * 森林公園など自然環境を生かした教育 * 少人数教育を特色としている 上美生でも、 * 自然体験 * 農業体験 * 少人数教育 * 地域交流 を組み合わせれば、非常に似た特色を打ち出せます。	めてまいります。	
--	--	-----------------	--

月 日	内 容
令和4年12月19日	上美生小中学校 PTA 役員との意見交換会開催
令和6年 2月 5日	上美生小中学校 PTA 役員との意見交換会開催 ・上美生中学校生徒の推移等について説明 ・特認校制度について説明
令和6年 6月13日	上美生小中学校 PTA との意見交換会開催 ・上美生中学校生徒の推移等について説明 ・特認校制度について説明 ・次期茅室町立小中学校配置計画スケジュール案の説明
令和6年11月25日	上美生小中学校区地域住民との意見交換会開催 ・上美生小中学校児童生徒の推移等について説明 ・特認校制度について説明 ・次期茅室町立小中学校配置計画スケジュール案の説明
令和6年12月 4日	上美生小中学校 PTA との意見交換会開催 ・上美生小中学校児童生徒の推移等について説明 ・特認校制度について説明 ・次期茅室町立小中学校配置計画スケジュール案の説明
令和7年 2月15日	上美生小中学校区地域住民との意見交換会開催 ・上美生小中学校児童生徒の推移等について説明 ・特認校制度について説明 ・次期茅室町立小中学校配置計画スケジュール案の説明
令和7年6月9日 ～令和7年7月9日	次期茅室町立小中学校配置計画（令和9年度から16年度）策定に係るアンケート調査実施 ※上美生小中学校校区対象者：学校区保護者・未就学児童保護者・地域住民（計176名、回答率29.0%）
令和7年10月28日	第1回上美生小・中学校の次期学校配置計画に係る説明会開催 ・アンケート調査結果から、複式学級が見込まれる校区の保護者の回答傾向、特認校制度ニーズ等を説明 ・配置計画策定に関わる課題として、複式学級に伴う学級数の減や免許外教科担任の増等を説明 ・計画策定スケジュールを説明

令和8年 2月19日	上美生地区協議会ほか6団体から「茅室町立上美生小中学校の存続と教育環境の充実に関する要望書」を受理 ・上美生地区の小中学校の存続の要望 ・特認校制度の導入と広域通学の提案 ・学校規模の違いを地域の強みとする提案 ・山村留学及び親子移住への支援の継続と強化 ・移住定住を促進するための住環境支援の強化 ・地域の活力支援
令和8年 3月 6日	上美生地区協議会ほか6団体へ「茅室町立上美生小中学校の存続と教育環境の充実に関する要望書」に対し回答文書を代表団体へ手交 ・上美生小中学校の存続を前提とする特認校制度の導入 ・次期小中学校配置計画における「基本方針」の特例の継続 ・現行制度を超える対応は難しいことほか
令和8年 3月17日	第2回上美生小・中学校の次期学校配置計画に係る説明会開催 ・上美生地区協議会ほか6団体への回答（3月6日）に基づき、上美生小中学校の存続を前提とする特認校制度導入などを説明 ・「要望書提出に当たり保護者の声はきかれていない」とする声や、「未就学児の保護者の意見を取り入れるべきだった」とする要望書提出団体の発言等が相次ぎ、地区協議会側から内容を再度整理し改めて協議するものとして、説明会は中断した
令和8年 4月28日	上美生小中学校 PTA 会長から「上美生小・中学校の今後のあり方に関する要望書」を受理 ・3月17日開催の説明会での状況を踏まえ、有児童保護者による意向投票（「存続を希望する」か「統合に賛成する」）が実施された（4月27日開票）こと ・意向投票結果は「存続を希望する」26票、「統合に賛成する」30票、白票1票であり、統合を要望案として位置付けたこと ・要望書提出時に、統合時期及び統合先は教育委員会から提案があった方が議論が進みやすい旨の依頼

令和8年 5月13日	次期芽室町立小中学校配置計画に係る令和8年度第1回地域説明会（上美生小中学校校区）開催 ・4月28日のPTAからの要望書を踏まえ、現小中学校配置計画に掲げる基本方針との整合等を総合的な判断として、次期小中学校配置計画における上美生小学校及び上美生中学校の統合を説明 ・4月28日要望書提出時の依頼に基づき、統合時期は上美生中学校で複式学級が生じること等を踏まえ、令和9年度末に閉校し令和10年度から統合すること、統合先についてはスクールバス通学の時間的利便性や、下校バスの柔軟な運行体制の確保、部活動の継続性等を考慮し芽室小学校及び芽室中学校を提案 ・統合時期及び統合先の提案については地域内で協議願ひ、5月25日までの回答を依頼
令和8年 5月25日	上美生小中学校PTA会長が来庁し教育委員会へ説明 ・5月13日の教育委員会からの回答依頼に対し、有児童保護者にアンケートを実施し、その結果を基に6月2日に検討会を開催すること ※アンケート結果（6月2日情報提供） 統合時期：55%が教育委員会の提案を適切と回答、30%が遅らせるべきと回答 統合先：52.5%が教育委員会の提案に賛成と回答、7.5%が反対と回答 上美生地区協議会会長が来庁し教育委員会へ説明 ・2月19日に提出した要望書は、保留願ひたいこと ・5月13日の教育委員会からの回答依頼については、回答を保留したいこと ・教育委員会からは、6月3日を再設定期限として回答を依頼
令和8年 6月 3日	上美生地区協議会会長からの書面を受理 ・5月13日の教育委員会からの回答依頼については、結論が出ていないこと ・6月14日に全地域住民を対象に、現況までの説明と意見交換会を開催すること

令和8年 6月 4日	上美生小中学校有児童保護者代表から6月2日の検討会を経た「上美生小学校・上美生中学校の学校統合時期及び統合先について」の回答書を受理 ・5月13日の教育委員会からの回答依頼については、6月2日の検討会における様々な意見を付した上で、統合時期・統合先とも、最終的な判断は教育委員会に願うこと ・統合時期や統合先等の懸念や意見の集約結果の報告と、今後も継続的に話し合うことの希望あり ・統合に向けたスケジュールや進捗について、定期的な説明会開催の要望あり
令和8年 6月16日	上美生地区協議会会長からの書面を受理 ・5月13日の教育委員会からの回答依頼（統合時期、統合先）に係る内容なし
令和8年 6月17日	令和8年度次期芽室町立小中学校配置計画に係る第2回地域説明会（上美生小中学校校区）を開催 ・これまでの協議経過や、様々な意見があるも、特に保護者の意向を尊重し、上美生小学校及び上美生中学校の統合を説明 ・統合時期及び統合先については、5月13日に教育委員会が提案した内容に、有児童保護者が最終的な判断を教育委員会に委ねたこと、その他取りまとめられた代案がなかったことから、統合時期は令和9年度末をもって閉校し令和10年度から統合すること、統合先は芽室小学校及び芽室中学校とすることを説明